

2008年(平成20年)10月23日(木曜日)

東京新聞 (夕刊)

日本橋で磨け 和装の美

日本橋美人をキーワードに、にぎわいを生みだそうという初めてのイベントが、東京都中央区日本橋地域一帯で、二十四日から来月九日まで開かれる。タイトルは「浮世絵で彩る日本橋」Japan Beauty from Edo-Tokyo、日本橋美人博覧会。街に和服姿の女性があふれる十七日間になるかもしれない。

あすから「美人博覧会」

主催するのは、地元ソートンに分け、ロイヤルの老舗店主らで構成するルパークホテル(日本橋蛸薬町)などメーンする特定非営利活動法人(橋蛸薬町)などメーン(NPO法人)東京中四会場と一般の四会場。央ネット日本橋美人推進協議会。同協議会は、食品といった、女性の五年前から「心も身体も美しい日本橋美人」本橋美人商品を販売する。をキャッチフレーズにする。

掲げ、地域活性を図って来た。各会場は、浮世絵の木版画で知られる「ア

博覧会は同地域を「ア」制作の作品で彩



会場に飾られる浮世絵木版画の一つ、喜多川歌麿の「寛政三美人」アタチ版画研究所提供

浮世絵を装飾、美容品や衣類販売

られる。

博覧会では、和服姿での写真撮影に適した日本橋、常盤橋門跡など「和服の美ポイント」を教えてもらえたり、特別の観光コースをガイド付きで見ることが出来る。和服の女性来場者には同ホテルなど博覧会参加飲食店に限り、割引価格でお茶菓子をおまわす特典もある。

今年は、日本の西洋化が進んだ明治維新から百四十年。実行委員会事務局の岩本知夏さんは「日本橋が和服美人であふれて華やかでほしい」と期待を込める。詳しくはホームページ＝<http://www.nihonbashi-bijin.com/bijinbaku>＝を。

